

AI検索と従来検索の比較

AIアシスタントとAIモデルの関係を
踏まえて理解する

1 従来のインターネット検索

- ユーザーは「ブラウザ」を使って検索エンジン（Googleなど）にアクセス
- 検索エンジンがキーワードに一致するウェブページを一覧表示
- ユーザー自身が複数サイトを見て情報をまとめる必要がある

2 AI検索の仕組み

- ユーザーはAIアシスタントを通じて質問を入力
- AIモデルがウェブ情報や学習データを分析し、要約して回答
- 複数サイトの内容をAIが自動で整理してくれる

3 構成の比較

- 【従来検索】
- あなた → ブラウザ → 検索エンジン → ウェブサイト
- 【AI検索】
- あなた → AIアシスタント（UI） → AIモデル（頭脳） → インターネット情報源

4 特徴の違い

- ◆ 従来検索
 - ▪ キーワード検索が中心
 - ▪ 結果はリンカー覧
 - ▪ 情報整理はユーザーが行う
- ◆ AI検索
 - ▪ 質問文で検索できる（自然言語）
 - ▪ 結果は要約・解説付き
 - ▪ AIが情報を整理してくれる

5 代表的なAI検索サービス

- ▪ Perplexity AI : 代表的なAI検索サービス
- ▪ Google AI Overview : 検索結果上部にAI要約を表示
- ▪ Microsoft Copilot (Bing) : 会話形式で検索
- ▪ You.com / Brave AI Search : AIと従来検索のハイブリッド型

6 まとめ

- ◆ AI検索は「AIアシスタント＋AIモデル」で構成される新しい検索方式
- ◆ 従来検索との違いは「情報整理をAIが自動で行う」点
- ◆ これからは「調べる」より「聞く」時代へ